

3類型	鈹工業品	通巻番号	4-22-003
地域資源名	美濃焼	認定日	平成22年6月15日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市	所管省庁	経済産業省

事業名：産学協同開発による美濃焼の新軽量強化磁器食器「おかるのキモチ」の製造・販売事業

会社名：大東亜窯業株式会社
 （共同申請者：有限会社メープル）
 連絡先：TEL：0572-55-3111
 FAX：0572-55-0574

所在地：岐阜県土岐市肥田町肥田2886-3
 H P：http://www.daitoua.co.jp

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「軽く」て「強い」磁器のニーズに応えるため、独自に配合した土を産学協同(愛知工業大学、陶料メーカー)で開発。
- ・パット印刷による3色の外面印刷で精度の高い下絵付け技術を導入。また、下絵付けゆえに絵付け顔料の溶出が防げる。
- ・3年に及ぶ研究開発と試作を重ねた結果、平成21年に製品化に成功、「おかるのキモチ」というブランド名で発売を開始した。



【赤絵草花 和らく45小鉢】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・業務用食器はメラミンやポリプロピレンなどの樹脂製が大半を占めるが、「日々の食事は陶磁器が良い」というニーズは根強い。
- ・本製品は、一般的な強化磁器以上の「割れ」に対する強さ、「ふち欠け」に対する強さを有しつつ、強化磁器と比較して10%以上の軽量化を実現している。

◆市場性

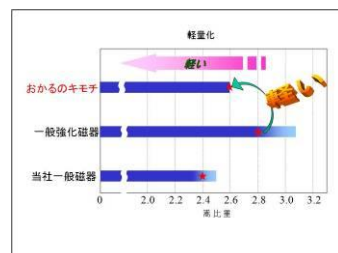
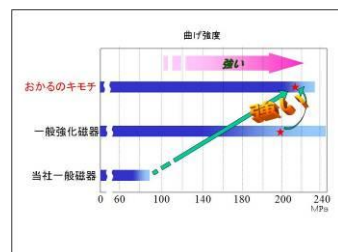
- ・消耗度の高い業務用食器分野においては、強度と軽さの両立した商品が高く評価される。
- ・本製品は機能+デザイン、質感、季節感を表現出来ており、日本に伝わる陶磁器のぬくもりを感じながら、“食事の楽しさ”が演出できる。

◆販路

- ・老人養護施設やホテル・旅館、さらには企業の社員食堂や学校・幼稚園等への販路開拓を目指す。



【「和らく」アソート例】



地域における関係事業者等との連携

- ・地域の製土メーカー及び公設試験研究機関との連携を図っているほか、組合主催の見本市、陶器祭りなど各種事業へも積極的に参加している。